



タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS3621		
科目名	戦術トレーニング論演習		
担当教員	山本 大		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 3		
講義室	1402	単位区分	選,選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門科目		
科目中分類	専門応用		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1－E〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し 利用することができる。 DP4－F〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP3－G〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP3－H〔論理的思考力・批判的思考力〕 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4－I〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンレブリック（CR）との関連 E 1 学識・専門技能（40%） F 1 探求力・課題解決力（20%） G 1 状況把握力・判断力（20%） H 1 論理的思考力（5%） H 2 批判的思考力（5%） I 1 理解力・分析力（10%）		
教員の実務経験	2003年から2016年までプロサッカーコーチとして、日本サッカー協会およびプロサッカークラブ（Jリーグ）で育成年代を対象に現場で指導を行うと同時に、日本サッカー協会公認の指導者養成インストラクターとして、指導者の養成に携わっています。これらの経験をもとに、本授業では、ディスカッション（および発問とフィードバック）を通して学習者本人が課題解決の糸口を見出す手助けを行います。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	本演習では、戦術トレーニング論で学習した内容を踏まえて、これに関する国内外の研究論文を検証することによって、戦術トレーニングの実施方法について理解し、各自がおこなっている戦術トレーニングの分析を行います。特に、技術トレーニングと戦術トレーニングの相補関係について学習し、各自の専門種目において、より実践的な戦術トレーニング方法論を構築できるようにします。授業形態は演習形式により行います。なお授業を補完・代替するためオンライン（オンデマンド型・ライブ配信型）を取り入れます。 ■キーワード 戦術・技術・トレーニング法		

授業の趣旨	■副題 戦術トレーニング論で学んだ知識を基に、専門種目の試合を対象とした戦術トレーニングに関する論文を精読したうえに発表を行う。 ■授業の目的 自身の種目での戦術的な問題点を明らかにし、技術トレーニングと戦術トレーニングの相補関係をもとに、実践的な戦術トレーニング方法を構築する。 ■授業のポイント 競技種目特性を競技規則、技術構造、トレーニングという観点から押さえ、より実践的な戦術トレーニングの構築へと進化させます。	
総合到達目標	■各自の専門種目において、戦術的に正しい判断や実行ができるようになるために、課題の抽出方法と問題を改善するためのトレーニング方法を考案するための能力を修得する。 ・観察を通して戦術的な課題を見つけることができる（第2回、第3回） ・専門種目における戦術的な分析ができる観点を獲得する（第4回～第7回） ・分析項目をわかりやすくまとめ、解決のために実践的な戦術トレーニング方法を考案する（第10回～第13回）	
成績評価方法	（成績評価手段） 授業レポート3回 課題レポート2回 まとめレポート1回 ※授業の進行具合により変更する場合がある。 ■授業レポート（60%） 適応ルーブリック E、F、G、H、I （評価の観点） レポートの内容（量と質）を評価します。 （フィードバック） 提出後に講評を行います。 ■課題レポート（30%） F、G、H、I （評価の観点） 提出・期限・内容（量と質）を評価します。 （フィードバック） 発表後、講評を行います。 ■まとめレポート（10%） E、H、I （評価の観点） 設問に対して適切に回答しているかを評価します。また回答の量（80%以上）と質（論理的）についても評価します。 （フィードバック） 提出後、後日個別に対応します。	
履修条件	「戦術トレーニング論」を履修していることが望ましいです。	
履修上の注意点		
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 担当者の実務経験を踏まえて、授業の進め方や評価について説明をおこなう。また授業の概要や発表などの方法を学ぶ。 ③予習（120分） シラバスの内容をよく読んでおく。 ④復習（120分） 自身の種目における戦術分析に関する図書や文献を一読しておく。
	2	①授業テーマ 専門種目を対象に戦術分析をするために課題を設定① ②授業概要 専門種目の戦術分析を実施するため問題点を課題として設定する。担当者の実務経験を踏まえ、それに対して指導やアドバイスを行う。 （E1・F1・G1） ③予習（120分） 課題とした問題点が明らかな視覚資料を用意する。 ④復習（120分） 設定した課題が妥当かどうか映像や自身の実践で確認する。
	3	①授業テーマ 専門種目を対象に戦術分析をするために課題を設定② ②授業概要 専門種目の戦術分析を実施するため問題点を課題として設定する。 （E1・F1・G1） ③予習（120分） 課題とした問題点が明らかな視覚資料を用意する。 ④復習（120分） 課題がより明確となる映像資料をさらに調査する。
	4	①授業テーマ 設定した課題に対する解決策の模索 ②授業概要 設定した課題に対して様々な知見から解決策を議論する。担当者の実務経験を踏まえ、それに対して指導やアドバイスを行う。 （E1・F1・G1） ③予習（120分） 課題解決のため一助となる知見の資料を整理する。 ④復習（120分） 議論を通して、さらに浮き彫りになった疑問点や解決策をまとめておく。
	5	①授業テーマ 課題解決の実践① ②授業概要 課題に対する解決策を提示し、議論のうえ発表する。担当者の実務経験を踏まえ、それに対して指導やアドバイスを行う。 （E1・F1・G1・H1） ③予習（120分） フィードバックに備え、議論の内容を整理しておく。

	④復習（120分） 提示した解決において、不足していた内容や不明な点について調べておく。
6	①授業テーマ 課題解決の実践② ②授業概要 課題に対する解決策を提示し、議論のうえ発表する。（E1・F1・G1・H1） ③予習（120分） フィードバックに備え、議論の内容を整理しておく。 ④復習（120分） 改善点が他にないか細部にわたり再考する。
7	①授業テーマ 課題解決の実践③ ②授業概要 課題に対する解決策を提示し、議論のうえ発表する。（E1・F1・G1・H1） ③予習（120分） フィードバックに備え、議論の内容を整理しておく。 ④復習（120分） 前回同様、改善点が他にないか細部にわたり再考する。
8	①授業テーマ 実践後のフィードバック ②授業概要 設定された課題に対する解決策の妥当性を議論する。 担当者の実務経験を踏まえ、それに対して指導やアドバイスを行う。（E1・F1・G1・H1・H2・I1） ③予習（120分） 解決策の妥当性についての議論を整理しておく。 ④復習（120分） 解決策の一助となる文献を探し、一読しておく。
9	①授業テーマ 専門種目について改善方法を模索 ②授業概要 フィードバックをもとに、課題解決を考慮した改善のための戦術トレーニング方法の模索する。 担当者の実務経験を踏まえ、それに対して指導やアドバイスを行う。（E1・F1・G1・H1・H2・I1） ③予習（120分） 課題解決のため一助となる知見の資料を用意する。 ④復習（120分） ヒントになりそうな国内外の著名な指導者のトレーニングについて調査する。
10	①授業テーマ 課題に対する解決策の改善① ②授業概要 フィードバックをもとに、課題解決を考慮した改善のための戦術トレーニング方法の考案する。 担当者の実務経験を踏まえ、それに対して指導やアドバイスを行う。（E1・F1・G1・I1） ③予習（120分） 解決策の発表準備をしておく。 ④復習（120分） 課題となる問題点が妥当かどうか再考する。
11	①授業テーマ 課題に対する解決策の改善② ②授業概要 フィードバックをもとに、課題解決を考慮した改善のための戦術トレーニング方法の考案する。（E1・F1・G1・I1） ③予習（120分） 解決策の発表準備をしておく。 ④復習（120分） 改善された解決策についての議論やアドバイスを整理しておく。
12	①授業テーマ 課題に対する解決策の改善③ ②授業概要 フィードバックをもとに、課題解決を考慮した改善のための戦術トレーニング方法の考案する（E1・F1・G1・I1）。 ③予習（120分） 解決策の発表準備をしておく。 ④復習（120分） よりわかりやすく、落とし込みやすい解決策がないか検討する。
13	①授業テーマ 課題に対する解決策の改善④ ②授業概要 フィードバックをもとに、課題解決を考慮した改善のための戦術トレーニング方法の考案する。（E1・F1・G1・I1） ③予習（120分） 解決策の発表準備をしておく。 ④復習（120分） 考案したトレーニング方法に問題点がないかさらに追究する。
14	①授業テーマ 改善された解決策に対するフィードバック ②授業概要 設定した課題に対し、改善された解決策についての妥当性を議論し、レポートにまとめる。（E1・F1・G1・H1・H2・I1） ③予習（120分） レポート作成のための資料を用意する。 ④復習（120分） レポートで書き忘れたことやさらなる疑問点をまとめておく。
15	①授業テーマ 戦術トレーニング論演習（後期）のまとめ ②授業概要 担当者の実務経験を踏まえて、課題設定、解決実践、フィードバック、解決策改善と繰り返した内容について総括を行う。 ③予習（120分） これまでの講義を振り返り、内容をまとめておく。 ④復習（120分） 課題設定から解決策改善まで一連の流れについて自分なりの作成方法をまとめておく。

関連科目	戦術トレーニング論 (SSCS2330)
教科書	
参考書・参考URL	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 必要な時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜2限。それ以外の時間については、教員と予約日時を相談後、研究室で対応します。
研究比率	

